

平成20年11月21日

# 貧酸素水塊速報 (2008年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター      千葉県農林水産技術会議  
 【協力】 神奈川県水産技術センター      内湾底びき網研究会連合会  
           千葉県環境研究センター      東京都環境局  
           第三管区海上保安本部      ○ 千葉灯標モニタリングポスト  
           国立環境研究所  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成20年11月17日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部の千葉寄りの海域に分布していましたが、DO1ml/L以下と強く貧酸素化している海域は見られませんでした(図1)。鉛直的に見ると、貧酸素水塊は海底直上にもみ分布していましたが(図2)。このため、貧酸素水塊の規模は前回より減少し、ほぼ0%となりました(図3)。なお、11月13～14日に船橋地先で青潮が発生した模様です(千葉県水質保全課からの情報)。ごく沿岸域の表層水温は18℃前後でした。

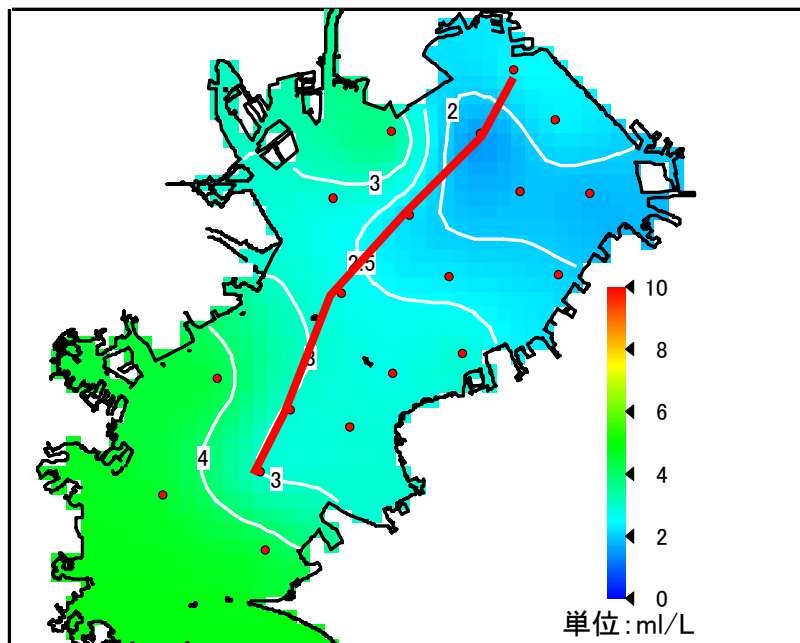


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

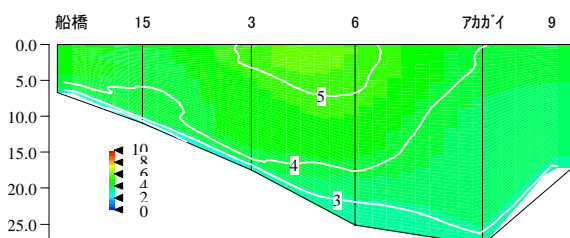


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

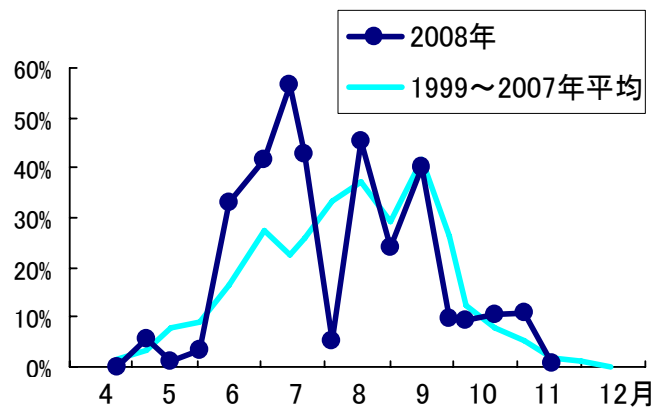


図3 貧酸素水塊の規模  
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)